

# 県立三島病院での24時間救急医療の確保と 県立三島病院の廃止撤回を求める署名(第二次)

## 《陳情趣旨》

愛媛県は、四国中央市の地域医療の中核を担ってきた県立三島病院を、医師不足や赤字を理由に、2010年3月31日に廃止、四国中央病院に売り渡すことを発表しました。また、県知事は「三島病院で救急を担う医師を確保するのは、極めて高いハードル(困難)」と発言しました。

移譲先の四国中央病院では、県が譲り渡す「絶対条件」とした三島病院での24時間救急医療(二次救急)機能の確保すら、医師確保の困難性から絶望的となっています。また、入院ベッドも内科のみとなり大幅削減計画です。このままでは、いずれの救急勤務医師の激務も限界を超え、市内での24時間救急医療体制はすべて共倒れとなります。市内すべての救急車が新居浜市か観音寺市へ駆け込む、最悪の事態も心配されています。

いま、県の無責任な県立三島病院の廃止と、救急医療確保の「絶対条件」すら守られない無茶な民間移譲計画とが、四国中央市の救急医療崩壊の引き金になろうとしています。

地域医療再生の道は、県立三島病院がこの地域唯一の公立病院として地域の中核病院の役割を担い、愛媛県が責任を持ってしっかりと医師と医療スタッフを確保することが基本です。私たちは、愛媛県が県民医療を確保するという県立病院の使命に立ち返り、県立三島病院の廃止を撤回され、下記事項を実現されますよう陳情します。

## 記

- 一、県立三島病院の廃止を撤回し、「地域医療再生計画」の中核病院とすること。
- 一、県立三島病院での24時間救急医療体制(二次救急)を確保すること。
- 一、県立三島病院の医師・看護師はじめ医療スタッフを確保し、長時間激務を緩和すること。

氏名	住所

## 《取扱団体》

県立三島病院を守る会 〒799-0431 四国中央市寒川町2912-1  
生協宇摩診療所内 TEL 0896-25-0114